

平成22年9月

お父さんの働く姿

8月3日に東京都市大学付属中学校の3年生10名がキャリア・スタディ「企業研
修」として当事務所に来ました。8時20分より駅前清掃。8時45分より
朝礼を体験してもらい、10時より私が90分ほど子供達に話をしま
した。私が子供達に最初にした質問は「皆さんのお父さんは何のために
働いているの?」です。彼らの答えは、10人全員が「食うため」
と答えました。1人も「お父さんは家族のために働いてくれている」とは
言ってくれませんでした。私のそれからの話は「人は何のために働
いているのか、自分のため、食うためだけでなく、家族のため、会社と仲間
のため、そして社会に役に立つ人になるために働きを通じて人として
成長するために働いていること。」古田土会計は「日本中の中小企業を元
気にするというビジョンのために働いているから社員が元気で明るく楽しい
に働いていること。また挨拶は相手を元気にするためにするものだから、手を握り
プラスの言葉を言い合うこと、何故席を立つか椅子を机をつけるか等を説
明しました。子供達には感想文を書いてもらいました。その感想文が
すばらしいのです。10人全員が素直でここまで理解してくれたのかと感動
しました。社員全員に読んでもらいましたが社員の感想も中学生でもちゃんと
説明するとここまでわかるのかと感心していました。ある学生の一部を抜
き出す。「相手に喜んでくれるため、元気に生きてもらうために細かくやり方が統一
されていて、全てが笑顔や情熱が感じられ、今の世の中から見れば変なん
だろけれど、必要だ」と思った。」次に8月6日に第一回ファミリーデーを行な
いました。子供達とお母さん方に来て頂き、お父さんお母さんと一緒に朝礼、
駅前清掃に参加してもらい、その後、仕事をしてもらいました。お父さんの
机や椅子に座ってもらい、コピー、シュレッター等の仕事をもらいました。そ
して子供達に給料を渡しました。給料袋には全員の名前が印刷され1,000円が入
っています。古田土会計では給料も賞与も現金で支給しています。私が社員
一人一人のところに行って感謝の言葉を書いて手渡しします。お母さん方に集ま
ってもらいお話をしました。「どうか給料袋を受け取る時には子供の目の前
で受け取って、子供に「今月もお父さんが家族のために一生懸命働いてくれた
から家族が生活できるよ」と言って下さい」とお願ひしました。お母さん方の
感想文もみんなすばしかなかったのですが一部抜き出すと、「主人がお仕事に誇りを持
って前向きに頑張っている姿を見ながら、一体どんな所でお勤めをしているの
かな... 何か子どもにその姿を見せてあげたい」とお願ひしていましたので、実際に拝見
することができ大変感激しました。「お父さんが会社に行くと言った子供はたいへん
お父さんのイスお弁当を食べたお部屋等色々な物を思いうかべるのではないかと
思います。」私は会社が子供達にも働いているお父さんお母さんの
尊さを伝え、お母さんが子供に働いているお父さんに感謝の言葉を書けば子供
は素直で感懐がよいので、志の高い未来へ希望の持てる生き方ができるの
ではないかと思っています。

古田土 満